

キャラクター名
樽狗坂 姫乃 (たるくざか ひめの)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ハヌマーン		ワークス	レネゲイドピーイングC	カヴァー	警察関係者
	オプション		年齢	426	性別	女性
覚醒	憤怒	衝動	恐怖	初期侵食率	52	%
出自	名家の生まれ	経験	永劫の別れ	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	22
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	22
精神	4	1	0			5	戦闘移動	27
社会	2	0	0			2	全力移動	54

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	5r+9	3	9		
	白兵	5r+11	3	9		オリレジエ使用
	白兵	6r+9	3	9		60
	白兵	6r+11	3	9		60 オリレジエ使用

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
名刀【火討ち石】	
ウェポンケース	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
秘密兵器	P	N		
谷 修成	P 憧憬	N 憐憫		
旦那	P 純愛	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
先手必勝	3	-	常時	至近	自身	自動		
効果:	行動値+[Lv*5]							
武芸の達人	3	-	常時	至近	自身	自動		
効果:	達成値+[Lv*3] 暴走時適用外							
一閃	1	2	Xジャー	武器	-	白兵		
効果:	全力移動後白兵攻撃							
コントロールソート	1	2	Xジャー	武器	-	精神		
効果:	精神白兵置換							
コンセ:ノイマン	2	2	シンドローム	-	-	-		
効果:	C値-[Lv] 下限7							
マシラのごとく	3	5	シンドローム	-	単体	-	80↑	
効果:	攻撃力+[Lv*10] ダイス-5個 シリア1回							
フェイタルヒット	3	4	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	ダメージ+[Lv]D10 ラッド1回							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動ダイス+[Lv]							
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	精神達成値+[Lv*2]							
プロファイリング	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	対象の人物像を描き出す							
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	身軽							
効果:								
効果:								

火付盗賊改方(ひつけとうぞくあらためかた)は、江戸時代に主に重罪である火付け(放火)、盗賊(押し込み強盗団)、賭博を取り締まった役職。「樽狗坂ひめ」はその「幻の5代目長官」であった。本来男性しかなければならないはずの役職であるが、彼女はその並外れた武芸の才により特例として認められていた。その剣の腕は江戸にて彼女に勝る者無しと言われた程であり、火付・盗賊の検挙・撲滅に多大な功績を上げたと言われている。一方で、民衆の意見をよく聞き人情にも厚く、また民衆の意見を元に幕府の役人にも物怖じせず意見を言うさまから人望が高かった。その女傑ぶりからいつしか「江戸のじやんぬだるく」と呼ばれるようになっていた。

火付盗賊改方長官として剣を振るい、江戸の為に尽くしてきたが、そんな彼女の事をよく思わない幕府の役人も多く存在していた。当時の男尊女卑的な考え方もそうだが、彼女の権力に屈しない反抗的な姿勢がやがて幕府にとっての驚異になると考えられたのである。

延宝元年(1673年)某日、彼女は幕府の陰謀によって火付けの冤罪を着せられ、長官の座を剥奪された後投獄されてしまう。そして同年5月30日、彼女は火刑によってその19年の生涯を終えたのであった。奇しくもそれは、彼女の異名の元となったジャンヌ・ダルクの年齢・処刑日・処刑方法と全く同じなのであった。

彼女の死後、彼女が火付盗賊改方長官であった事実は幕府によって抹消され、歴史から姿を消した。彼女の存在はごく一部の資料に都市伝説として語られる程度でしか残っていないかった。都市伝説の中には「怒りに満ちた樽狗坂ひめが火刑の後も絶命せず、黒焦げになりながらも役人に斬りかかった」などと囁かれるものもあったが、その真偽は不明であった。

皮肉にも、その都市伝説が「樽狗坂ひめ」という存在をレネゲイドピーイングとして蘇らせることになる。

処刑が行われた数百年後、彼女は見たこともない物体が無数に鎮座する部屋の中で目を覚ます。